

FRONTIER INTERNATIONAL GROUP

2027年4月期 第1四半期 決算説明資料

株式会社フロンティアインターナショナル

東証グロース〔 7050 〕



CONTENTS

01 | 2027年4月期 第1四半期業績

02 | 2027年4月期通期業績予想

03 | APPENDIX

01 | 2027年4月期 第1四半期業績

業績ハイライト

売上高

74億円

前年同期比

+30.2%

営業利益

5.6億円

前年同期比

+134.4%

経常利益

5.7億円

前年同期比

+140.0%

四半期純利益

3.6億円

前年同期比

+148.3%

2027年4月期 第1四半期業績

- フロンティアインターナショナル、フロンティアダイレクト、イリアルのオーガニック3社が堅調に推移したことに加え、グループ会社間の連携も進んでグループ各社も順調に推移したことから、売上高は前年同期比30.2%増と好調に推移
- 資材高騰による物価高を吸収して売上総利益率が伸長、販管費も前年同期比10.9%増にコントロールしたことで営業利益は前年同期比134.4%増と大幅に躍進

(百万円)	実績		前年同期比
	2026年4月期 (第1四半期)	2027年4月期 (第1四半期)	
売上高	5,692	7,412	+30.2%
売上総利益 (利益率)	1,055 18.5%	1,467 19.8%	+39.0%
販管費	815	904	+10.9%
営業利益 (利益率)	239 4.2%	562 7.6%	+134.4%
経常利益 (利益率)	240 4.2%	578 7.8%	+140.0%
四半期当期純利益	149	369	+148.3%
非支配株主に帰属する純利益	5	36	
親会社株主に帰属する純利益	143	333	+132.4%

四半期別売上高推移

- 当第1四半期の売上は74.1億円となり、直近3期は右肩上がりの高い成長を実現
- グループ拡大によりソリューションが拡充されたことで、スタートダッシュに成功して順調な滑り出し

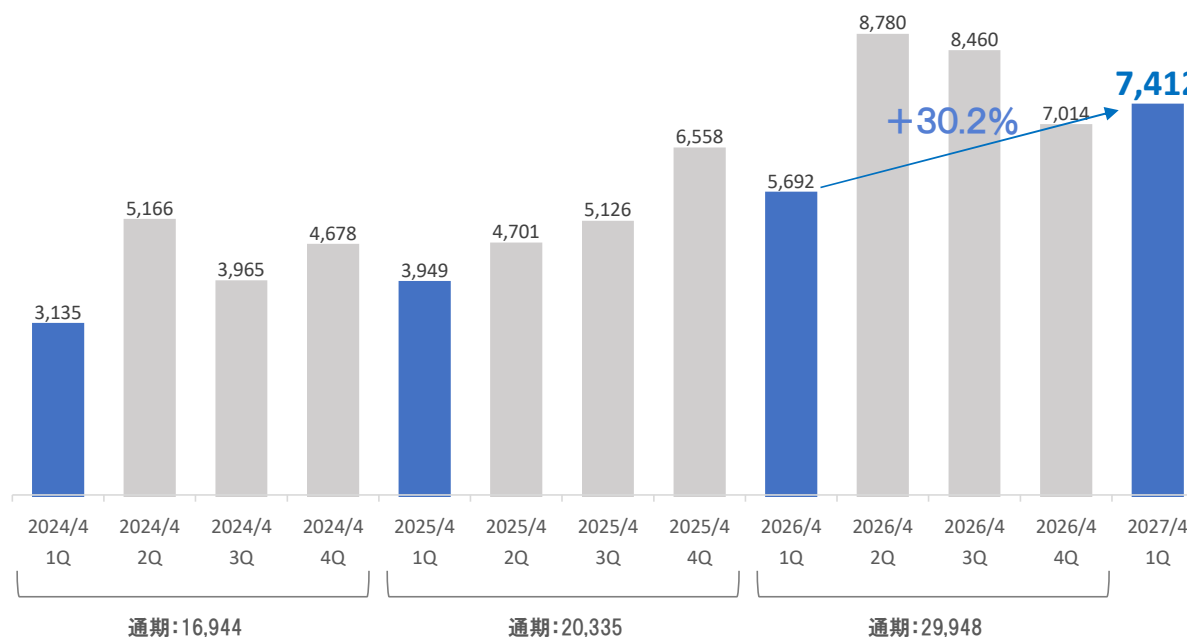
当第1四半期売上高

74.1億円

前年同期比

+30.2%

(百万円)



四半期別営業利益推移

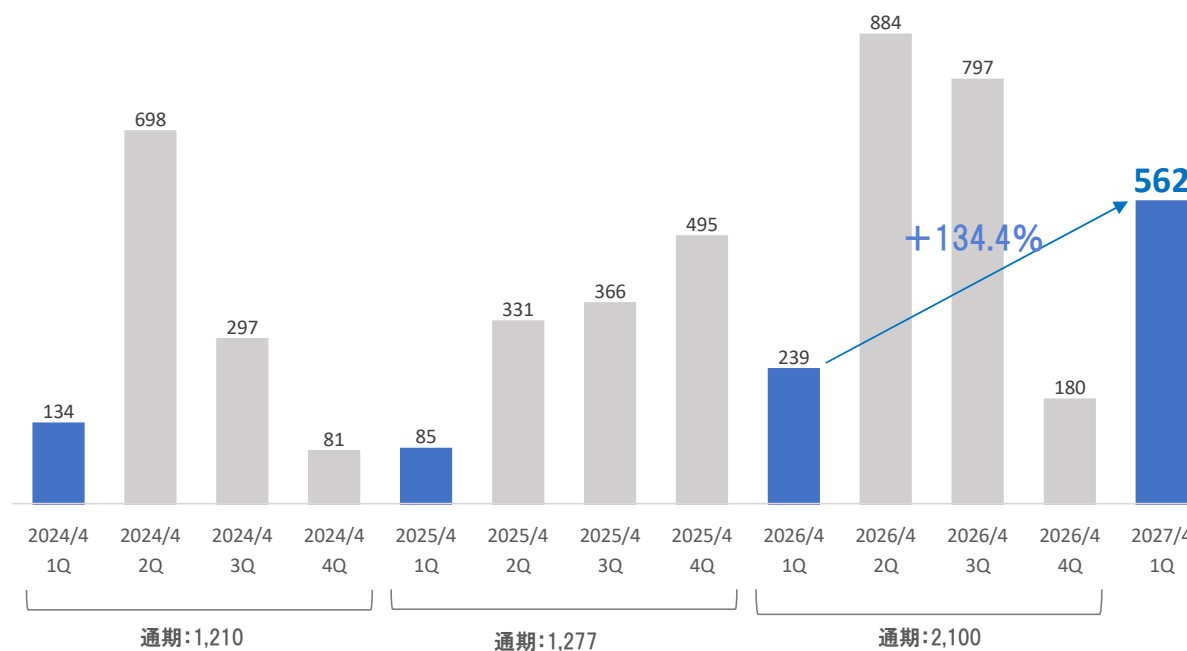
- 当第1四半期における営業利益は5.6億円となり前年同期比134.4%増と大きく増益を達成
- 売上高と同様に、これまで年間を通じて利幅の薄い傾向にあった第1四半期の採算性が改善

当第1四半期営業利益

(百万円)

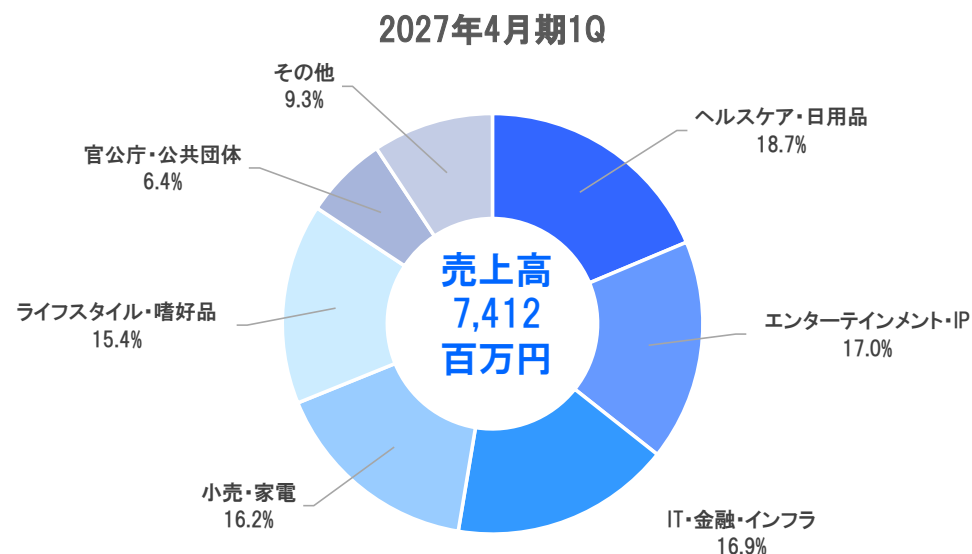
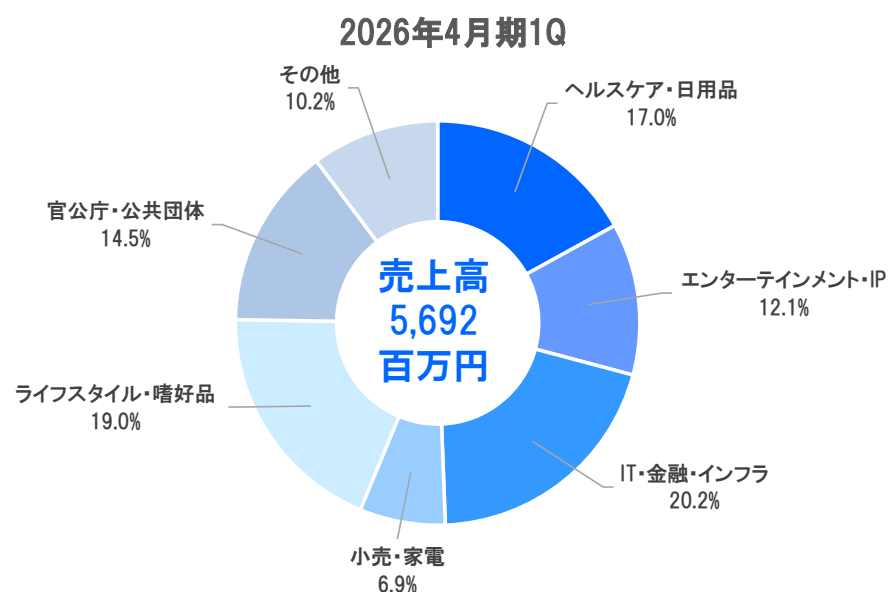
5.6億円

前年同期比
+134.4%



業種別売上構成比

- 「ヘルスケア・日用品」では、継続案件の大型化などが寄与し、前年同期比で売上構成比が増加
- 「エンターテインメント・IP」は、著名IPのポップアップストア運営の継続案件に加えて、ファンイベントの受注などにより大きく伸長

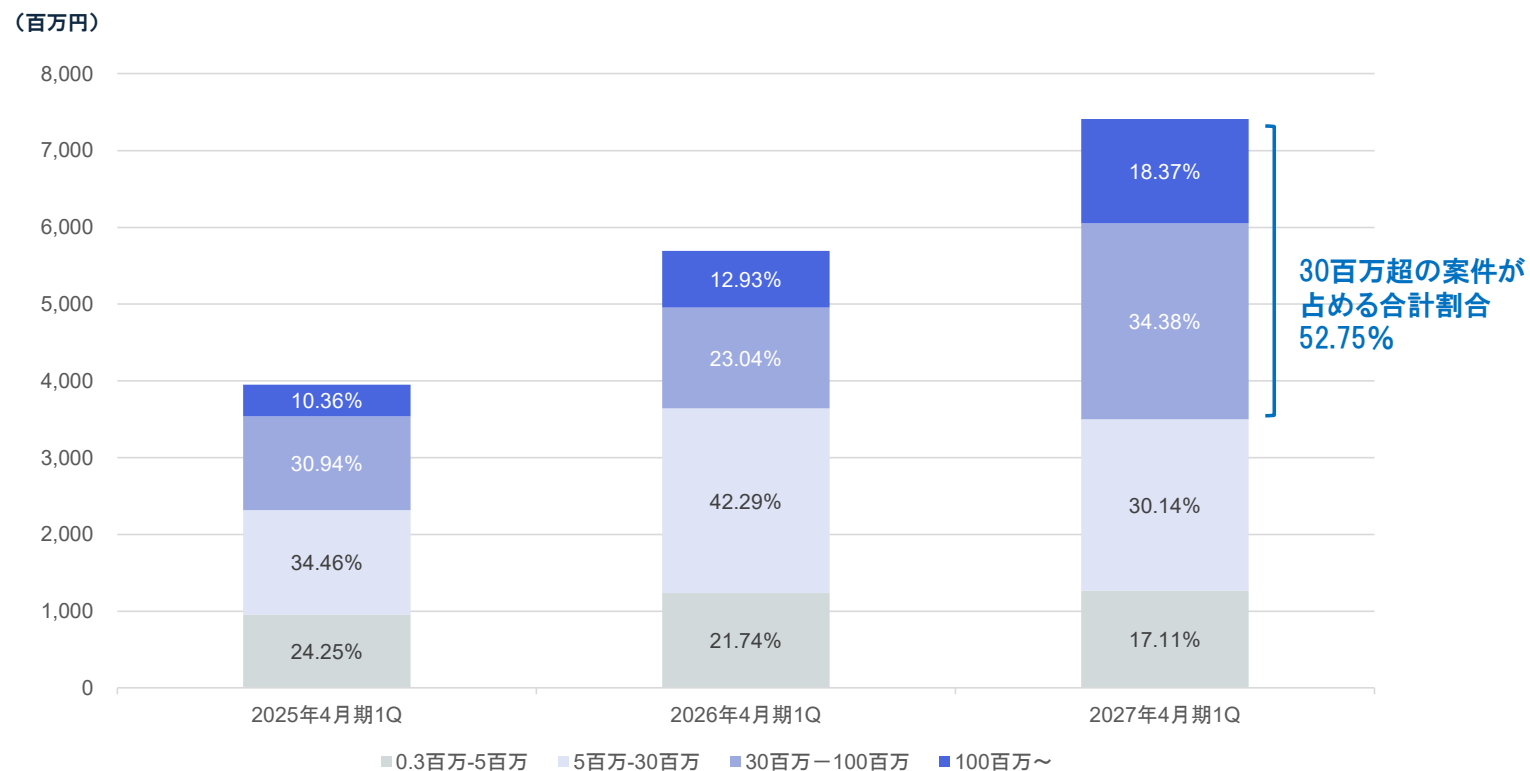


各カテゴリの内訳

カテゴリ名	ヘルスケア・日用品	エンターテインメント・IP	IT・金融・インフラ	小売・家電	ライフスタイル・嗜好品	官公庁・公共団体	その他
案件区分	食品 薬品・医療品	ゲーム・IP	情報・通信 金融・保険 不動産・住宅設備	小売・家電	嗜好品・化粧品 スポーツ・ファッション 自動車・関連品	官公庁・団体 その他団体	その他

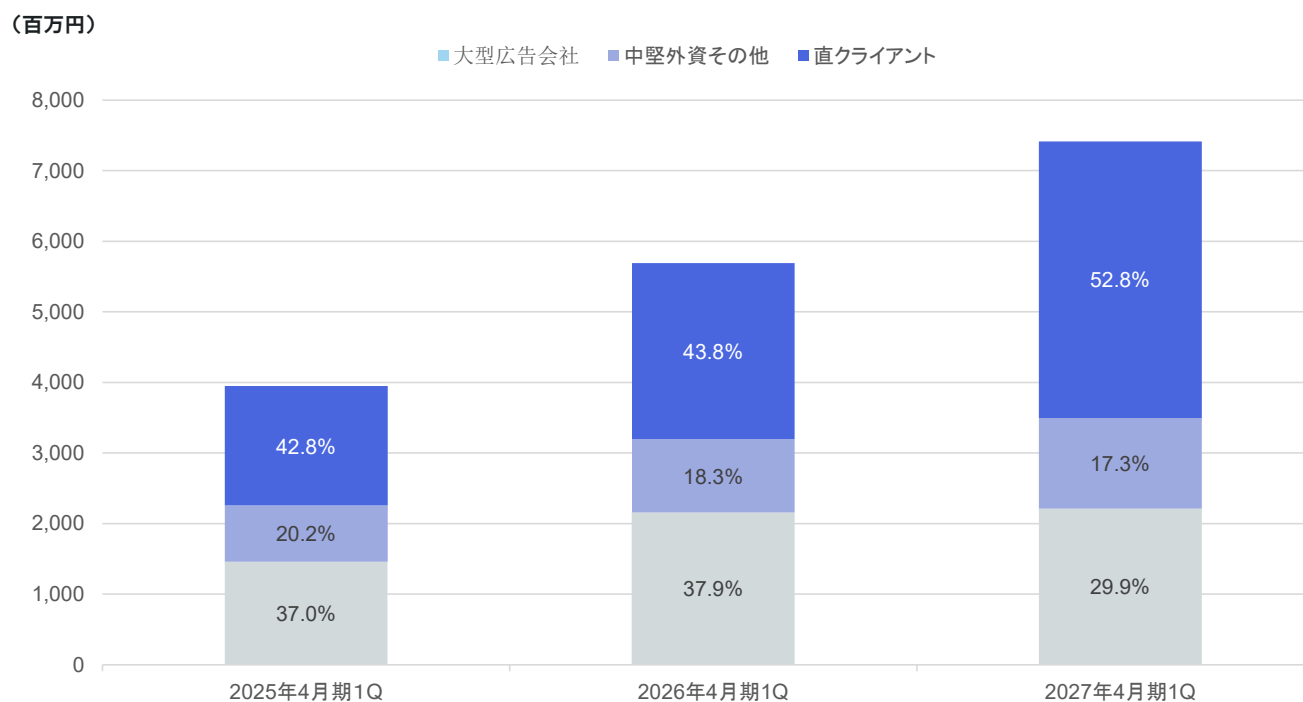
案件規模別分析

- 1億円超の案件で全体売上高の18.37%を占有、30百万円超の案件を加えると連結売上高の52.75%を占め、大型案件の拡大が当社グループの業績を後押し
- 将来の大型案件創出を見据えた中・小型案件に関しても、金額ベースでは前年同期水準を確保



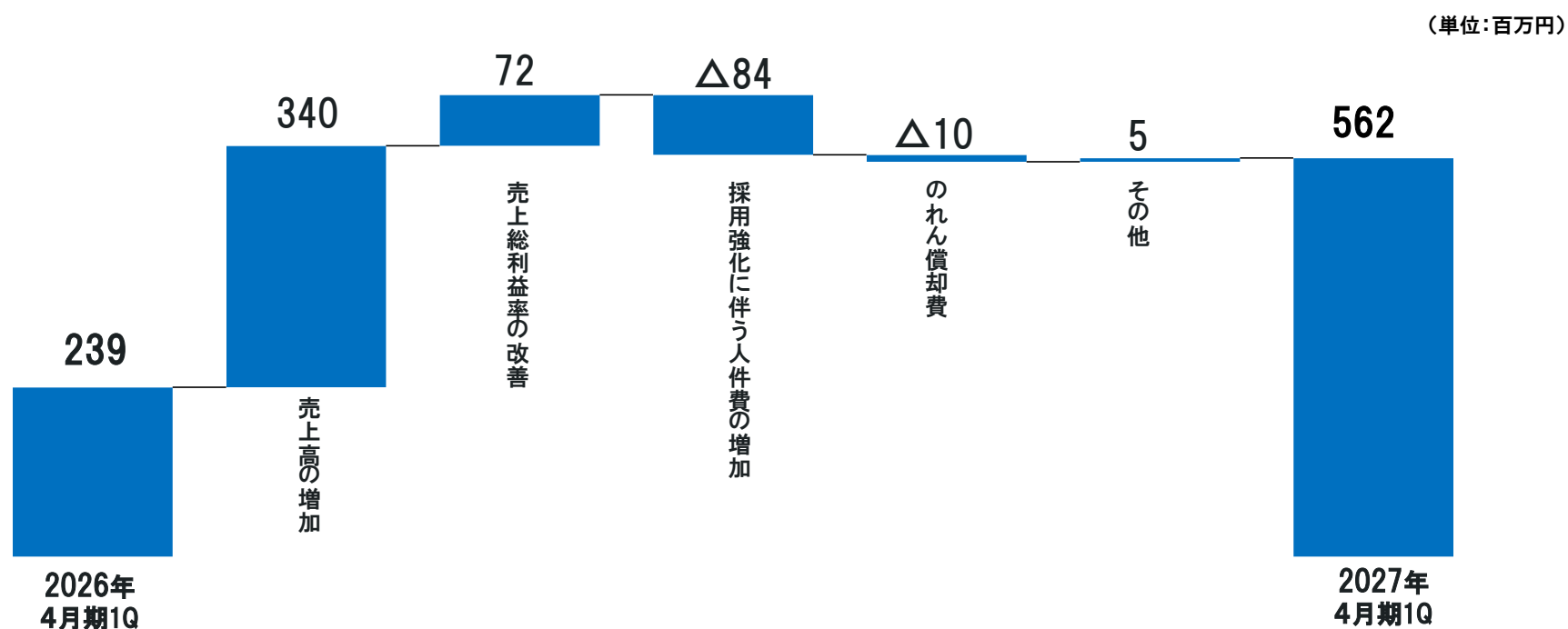
受注先別売上構成比

- 直クライアント比率は前年同期よりさらに伸長し、52.8%にまで到達
- 当社の事業基盤を構成する大手広告代理店との取引に関しても、金額ベースでは前年同期水準を確保



営業利益の増減分析

- 当第1四半期の営業利益は、採用強化に伴う人件費の増加等があったものの、売上高の増加に加え売上総利益率の改善が大きく寄与した結果、前年同期比134.4%増の5億62百万円となり、大幅な増益を達成



連結貸借対照表

- 当第1四半期は仕入債務の決済や、季節的要因、納税などの一時的な支払により、現預金及び負債が減少
- 自己資本比率は1.3ポイント上昇し、59.8%となった

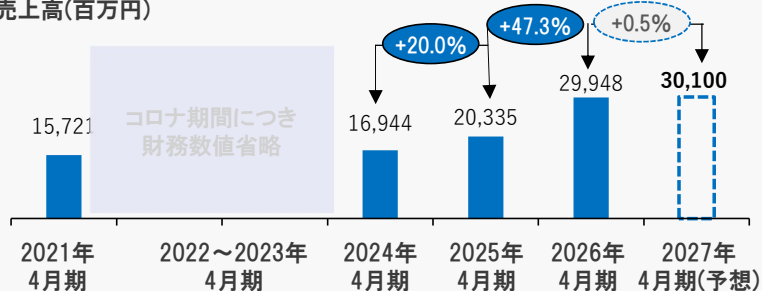
(百万円)	2026年4月期	2027年4月期 (第1四半期末)	増減
流動資産	13,369	12,232	△1,136
現預金	9,169	7,347	△1,821
固定資産	3,354	3,635	281
負債	6,379	5,790	△589
純資産	10,344	10,078	△265
自己資本比率	58.6%	59.8%	1.2%
総資産	16,723	15,868	△855

当社グループの戦略的投資の進捗状況(1/2)(外部資本投資)

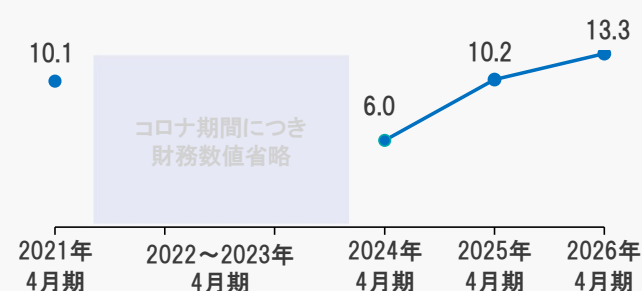
- 当社グループの非連続な成長を牽引すべく、更なるM&AやCVC投資を積極的に推進
- CVC投資先である60%社のExitを実現



売上高(百万円)



ROE(%)



当社グループの戦略的投資の進捗状況(2/2)(人的資本投資)

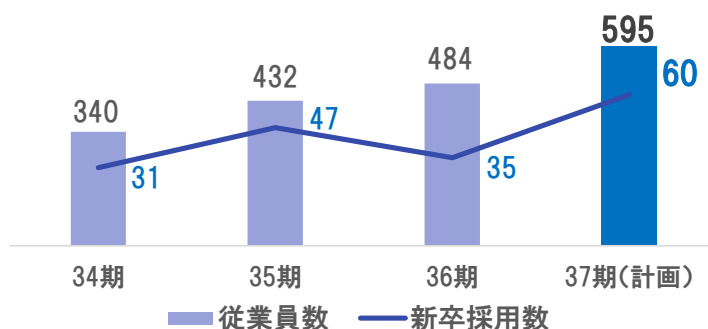
- 人的資本の「量的拡大」と「質的向上」を目的とした積極的な投資により、より広範に創造性と実現力を発揮することで価値提供を行い、継続的な事業成長を実現

人的資本の「量的拡大」

＜人材採用基盤の構築によって労働集約型ビジネスの継続的成長を実現＞

常時50名超の新卒採用を始めとする組織拡大の実現

【グループ従業員数と新卒採用数の計画と推移】



マネジメント人材／高度専門人材の獲得

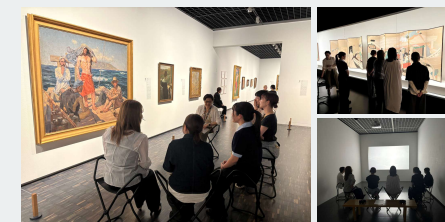
- 組織と機能の拡大に対応するため、マネジメント人材や高度専門人材の採用手法の多様化やネットワーク化を推進

人的資本の「質的向上」

＜スキル×感性×テクノロジーでヒトが本来持つ力を引き出す＞

スキル開発に加えて能力開発が難しい感性強化への不断の挑戦

- 新卒入社者を対象に、約3ヶ月間をかけてビジネスプロフェッショナル養成を意図した研修を実施
- 感性を磨き多角的な思考力を養うことを目的に、東京国立近代美術館にて「対話型鑑賞プログラム」を実施



ハードとソフトを組み合わせたエンゲージメント施策

- グループ各社での人事評価／報酬制度の継続的な改善検討
- 理念浸透を始めとする文化醸成の継続実施

02

|

2027年4月期通期業績予想

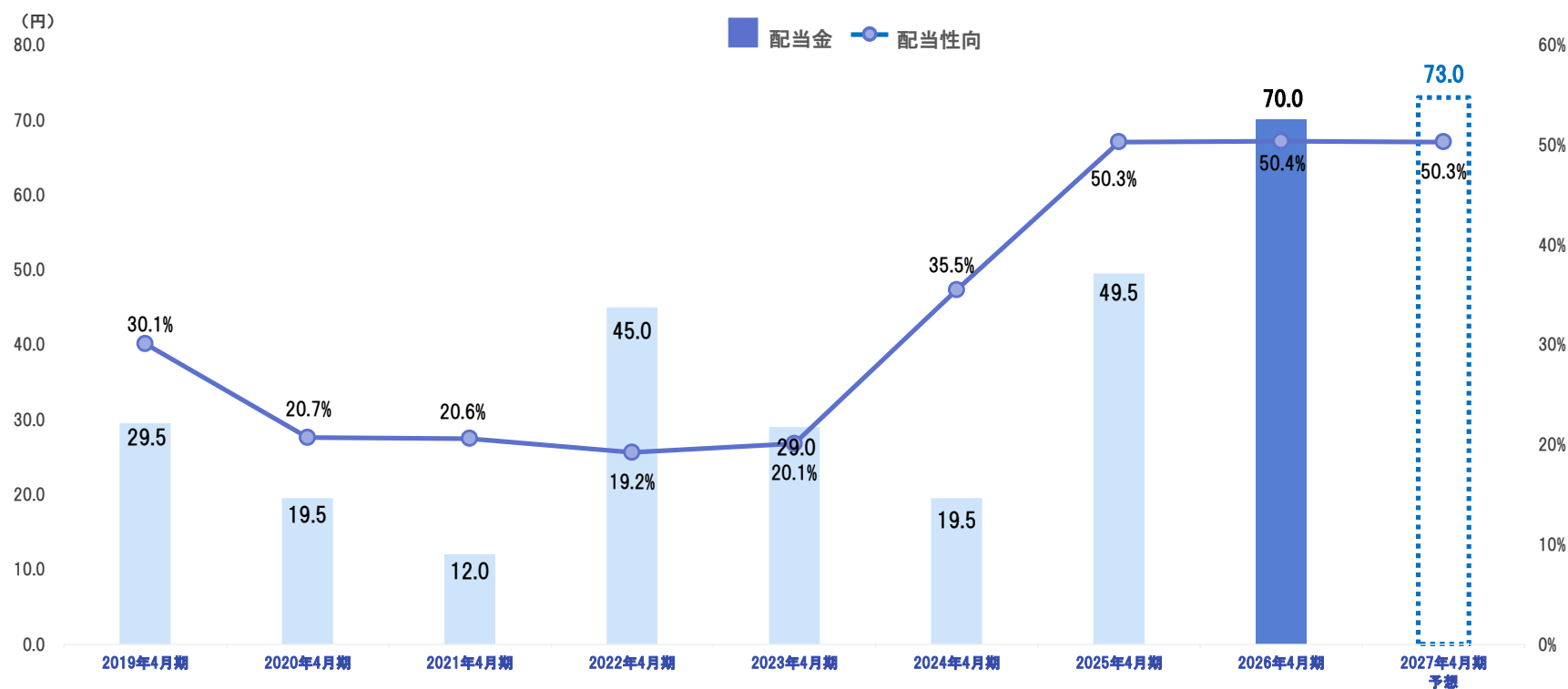
2027年4月期通期業績見通し

- 2027年4月期の通期業績見通しについて、業績は予定通り順調に推移しており、当初の計画を維持

(百万円)	2026年4月期 連結業績	2027年4月期 連結業績予想	増減額	増減率
売上高	29,948	30,100	152	0.5%
営業利益	2,100	2,110	10	0.5%
経常利益	2,108	2,110	2	0.1%
当期純利益	1,245	1,300	88	7.2%

配当予想

- 2027年4月期の配当は、1株あたり73円と過去最高となる当初の計画を維持
- 業績連動型の柔軟な還元を実施。連結配当性向50.0%程度を基準に設定(大型M&A実施時を除く)
- 配当の安定性を高め、利益還元の機会を充実させるため、中間配当の実施など株主還元の多様性を引き続き検討



※2026年2月1日を効力発生日とした株式分割を考慮しています

受注・引合残高

- 受注・引合残高が110億円を突破し、当期の業績を下支えする確実性の高い案件を着実に確保
- Lowの合計についても、顧客需要が非常に旺盛であることを示すとともに、次期以降の更なる業績成長へに向けたパイプラインを形成

(百万円) 売上高	2026年4月期1Q	2027年4月期1Q	
	(2025/7/31現在)	(2026/7/31現在)	差異
受注・引合残高 (受注+High+Midの合計)	10,731	11,036	305
Lowの合計	2,641	5,018	2,377

※オーガニック3社(㈱フロンティアインターナショナル、㈱フロンティアダイレクト、㈱イリアル)

※1会計期間にて集計しております

- 受注:金額・実施時期が決定している案件
- High:金額・実施時期に不確定要素のある案件(80%以上の確度)
- Mid:企画・提案案件のうち、受注する確度の高い案件(50%以上の確度)
- Low:企画・提案中の案件

03 | APPENDIX

—— 私たちの未来

OUR FUTURE

心の豊かさを分かち合える
生きる喜びに満ちた世界の実現。

私たちが創る体験によって、世界を喜びと感動で満ちし、
幸福の総量が増えていくことが私たちの願いです。
閉塞感がある現代において、物質的・機能的な充足だけではなく、
精神的な充足や心が豊かであること、そして人生を前向きに進めていく生きることの
喜びに溢れることが重要だと考えています。

—— 私たちの使命

OUR MISSION

未体験を開拓し、
すべての人の経験にする。

私たちが目指すものは、人の生きがいを創造し、人生を意義あるものとし、
すべての人の人生に貢献していくことです。そのために私たちがすべきことは、
自分自身・顧客・世の中に未知の体験を創り続けることにより、
人の心を動かし、それを人の経験にし、人々の価値観を変え、行動を変え、
やがて社会がより良い方向に大きく変えていくことです。

会社概要

会社名

株式会社フロンティアインターナショナル

所在地

東京都渋谷区渋谷3-3-5 NBF 渋谷イースト

代表取締役

河村康宏

事業内容

エクスペリエンスソリューション事業
ヒューマンソリューション事業
デジタル・テクノロジーソリューション事業

設立

1990年6月

資本金

429,766千円(資本準備金含む)

主要拠点

札幌、仙台、千葉、名古屋、大阪、広島、小倉、福岡

正社員数

484名(2026年4月時点)

グループ会社

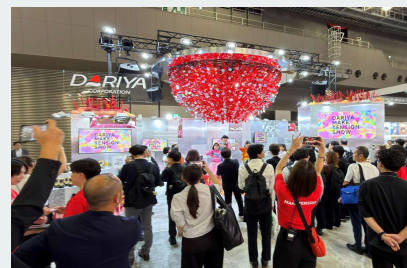
株式会社フロンティアダイレクト
株式会社イリアル
株式会社ガイアコミュニケーションズ
株式会社シネブリッジ
株式会社マックスプロデュース
NPU株式会社
他、非連結子会社4社



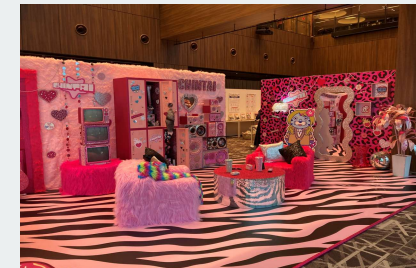
■ エンタ임フィットネスカンファレンス



■ midori fes. 2026



■ ダリヤ:第26回ドラッグストアショー



■ CHINTAI 50周年 Popup展



■ MAGARIGAWA 夏祭り



■ SAMURAI BLUE 3Dエクスペリエンス



お問い合わせ先



info@frontier-i.co.jp

● 本資料に関する注意事項

- 本資料は、情報提供のみを目的として作成しています。有価証券の販売の勧誘や購入の勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの将来の見通しに関する記述は、本資料の日付時点の情報に基づいて作成されています。将来予想に関する記述には、既知及び未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予想とは大きく異なる可能性があります。
- これらの記述に記載された結果と大きく異なる可能性のある要因には、国内及び国際的な経済状況の変化や、当社グループが事業展開する業界の動向等が含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- また、当社グループ以外の事項・組織に関する情報は、一般に公開されている情報に基づいており、当社はそのような一般に公開されている情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証しておりません。